

令和2年度年度第2学期終業式 式辞

この2学期は、災害的な暑さといわれた夏休み後、8月24日に2学期が始まりました。そのときと今の体育館内の気温差は、30度近くになるのではないのでしょうか。

2学期始業式の式辞で「2学期は、1年の中でも、劇的な大きな変化のあるときです。気候的にも、身の回りにある植物にも、私たち自身にも1年の中で最も大きな変化のある4ヶ月です。」と話をしました。皆さんにとって、劇的な変化とは大きな成長を果たしたことだと思います。1年生は、2学期になり高校生活のリズムが確立されて落ち着いて勉学に部活動に励んでいる様子が見えます。2年生は、3年生が部活動や生徒会、各種委員会から一歩引いた状態になって、中堅学年として、この八高を支える立場になって充実した日々を送っています。3年生は自身の進路実現のために一刻を無駄にすることなく集中した取組を今現在もしています。目標を達成すべく最後までひたむきに取り組んでください。

もちろん1年を通しての積み重ねがあつての、成長ですが大きく進化・成長を実感できるのがこの2学期です。これまで多くあつた表彰伝達式も、その証だと思います。「部活動で、体力的にも技術的にも大きくパワーアップした。自分自身を以前より客観的に見つめることができるようになった。資格試験に合格した。」等、冬休みはこの2学期で自分がどれだけ成長・変化してきたかをじっくりと振り返って欲しい。その上で「1年の計は元旦にあり！」とありますが、「次の自分はこのように進化・成長する。」としっかりと具体的に決め、そのための準備をしていって欲しいと言うことをお願いしておきます。

それからもう一点、皆さんにお願いしておきたい。昨日、県民総ぐるみ地震防災訓練、いわゆる「シェイクアウトえひめ」を実施しました。実際に起こってほしくないのですが、この冬休み中に大きな地震が起こる可能性も否定できません。学校での避難訓練は「まずは机の下に入り頭部を守りなさい。避難の際にはカバンを頭部保護のために使いなさい。」など指示をもらいます。しかし、いつ何時どこで、どのような状況で被災するか分かりません。津波は発生しているのか、道路は使えるのか、建物は傾いていないか等その場の状況を冷静に判断して、どう行動することが最適なのかを判断しなければなりません。とにかく「自分の命は自分で守る。」を第一に考え行動してください。また、家族と行動も共にしていない場合、どこで落ち合うのかを今一度話し合っておきましょう。また、皆さんの住んでいる地区には避難場所となる所、避難所となる施設があると思います。それも確認しておきましょう。

いずれにしても皆さんが3学期、元気でこの場に集うことを祈り式辞とします。

八幡浜高等学校 校長 菊地 英明